



元気 友達 笑顔 いっぱい かがやく

令和7年度 11月号

# 小田小だより

〒236-0052 横浜市金沢区富岡西1丁目69番1号 Tel.045(775)3011

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/koda/>

横浜市立小田小学校

## 一人一人が役割を意識して

こなだ ひろき  
校長 小灘 洋生

10月28日火曜日に運動会を開催いたしました。当初予定していた、土曜日と日曜日は悪天候のため延期をしての開催となりました。予定を繰り合わせて参観いただいた方、ご都合がつかず参観できないながらも子どもたちに励ましの声をかけていただいた方、ありがとうございました。

演技のところだけですが、まず私の感じたことをお知らせしたいと思います。

### 【1・2年生の演技】

演技の始まりに、動きながら自分の演技の場所を確認している様子が見られました。鉄棒や校舎を目印にしていた子もいるようです。演技中は曲をよく聞いて、動き始めもそろっており、練習の成果を発揮し、何よりも自分たちで確認しながら演技している姿が印象的でした。

### 【3・4年生の演技】

曲に合わせて笑顔で楽しそうに踊る姿が見られました。校庭中にキラキラ光るものがたくさん落ちていたのは、大きな動きで踊ることができたからでしょうか。自分たちで作った動きのところの演技では、自然現象を表すという難しい表現でしたが、とても工夫していました。荒々しさをダイナミックな動きで表現している人もいましたね。

### 【5・6年生の演技】

海の様子を一人一人が動きを考えて、自分なりに場面を表現しました。穏やかな状態から荒々しい様子まで、動き方の幅が感じられました。そこから力強いソーラン節につながっていく一貫性も感じました。始まりと終わりのポーズもかっこよくきまっていました。

学校では、運動会も学習の場としてとらえています。参観の方からすると、「発表会」のイメージが強いかと思いますが、「見せる」ということよりも「創り上げる」ことのほうを大事に考えています。もちろん、見ていただくことでモチベーションも上がり、より良いものをつくっていかうとする活動につながっていきます。

「創り上げる」ということが運動会の中でどんな活動につながっていたかということ、参加者として一つの大きなイベントをつくっていく中で、それぞれの役割を意識するところです。自分の演技や競技に一生懸命取り組むことその他、他の学年や参加者を応援することなど自分以外の人頑張れるように協力することもそうです。低学年、中学年の児童も応援団の声に答えたり、全校で並ぶときに列を整えたりすることもそうです。

さらに、高学年の児童はそれぞれが運動会の係の仕事に取り組んでいます。これは当日だけでなく、何度も打ち合わせと準備を重ねてきたものです。運動会当日がうまく流れていくのは、係の児童のがんばりのおかげです。もちろん学校職員もそれを全力でバックアップしています。

みんな一人一人が役割を意識して活動していくことで創り上げていく運動会をこれからも大切にしていきたいと思っています。